



教材名	言葉カード	使用学部	高等部
		使用授業	国語

教材の使用手法

発語が少なく、普段の生活は絵カードや簡単なサイン、短い言葉でコミュニケーションを図っている生徒に使用しています。卒後の生活に向けて、身近な言葉の理解を深めるために、この教材を使用しました。後期の半年間で、10個ほどの言葉を新しく理解することができました。

<使用方法>

I：①の写真→覚える言葉のイラストをはりつけ、ひらがなカードをランダムに配置します。

II：②の写真→ランダムに配置されたカードを、正しく並べ替えます。

III：③の写真→上記の課題ができるようになったら、多数のイラストと言葉をマッチングする課題を行います。

IV：④の写真→正しくマッチングできるようになったら、新たな言葉カードに取組ます。

※Iの段階では、ランダムに配置するひらがなカードの数を減らしたり、最初の文字をあらかじめ貼り付けておくなどして、できるだけスモールステップで学習できるように配慮していました。